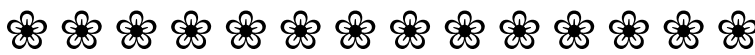


HSK NPO 法人「文福」ニュース ❀❀❀❀



# 「障」ちゃん



NO.308

## 冒頭の一言

北陸の冬は、雪に足を止められる日も多く、外へ出るのが難しいこともあります。近年では、雪に慣れている富山でさえ混乱するくらいの大雪が一気に降り、暮らしが振り回される場面も少なくありません。思うように動けず、家の中で過ごす時間が増えると、気持ちまで閉じこもってしまいそうになることもあります。

そんなときは、窓の外の雪を眺めて「また雪か…」とため息をつくよりも、雪が溶けて春になったら何をしようか、どこへ行こうかと想いをめぐらせてみるのも良いかもしれません。春を楽しみにしながら、ゆっくりと日々を過ごしていけたらと思います。

ゆき

## —もくじ—

冒頭の一言 … 1	ザ☆カイジヨ終了のお知らせ … 2
中村薫さんの絵の展示と講演会を終えて … 3-4	
楡原中学校に行ってきました … 5-7	
オカリナ演奏会がありました … 8-9	忘年会報告 … 10-11
2025 年 12 月 2 日障害者部会報告 … 12	
「まっち」34 号の原稿大募集 … 13	ありがとうコーナー … 14

## ザ☆カイジヨ終了のお知らせ

理事長 福田 文恵

文福設立当初から行っているザ☆カイジヨ(重度訪問介護従業者養成研修)ですが、今年度をもちまして終了する運びとなりました。

この研修を始める時に富山県の指定を取らなければいけなく、市や県に何度も理解してもらうため話し合いを行い、県の職員が実際にザ☆カイジヨを行っている所を見学に来てもらい、言語障害が聞き取れるかどうか、行う事に意味があるかどうかのチェックが入り、見学に来た職員が感動して帰られ、やっと指定許可を出してもらえ、今に至ってきました。

コロナ禍の中でも細々と行ってきましたが、近年講師の方々が年齢を重ねられ講義自体を行えなくなってきました。

本当は若い世代に受け継いでほしいと思ってましたが、残念ながらそれも叶わず終了するという決断に達しました。

文福で行うザ☆カイジヨの特徴としては、障害当事者が講師として講義をし、直接当事者の声で伝えるという事でした。

## 中村薫さんの絵の展示と講演会を終えて

三井真知子

去る 11 月 8 日 9 日の 2 日間、安養坊公民館での文化展に「中村薫さんの絵を展示」し、最終日に、講演会「脳性麻痺の私が右足で描いた絵は私の可愛い子ども達」と題して、薫さんの今までの生き方をお話して頂きました。絵は全部で 10 作品、展示し、薫さんの絵の素晴らしさとパワーを一人でも多くの方に見て、感じてもらいたくて企画・開催させて頂きました。薫さんの紹介パネルを作成し、薫さんの今までの生き方や大切にしていること・願いや絵を描いている様子の写真も展示しました。2 日間、子どもから、ご年配の方まで幅広い年齢層の方々に薫さんの絵を見て、感じて頂きました。

また、講演会では、薫さんが、どう生きてきたのか。詳しく子供の頃のお話や最近の生活(介助)の変化、『文福』についても説明されていました。

そして、薫さんは、これまで多くの人に助けってもらって生きて来た事への感謝とその出会いは『心の中の宝石であること』を語っておられました。

最後に薫さんの願いは「障害がある人も、ない人も、子供も、お年寄りも、働いている人も、働けない人も、体が動かなくても、喋れなくても、耳が聞こえなくても、みんな同じ人間です。お互いを尊重し合い、理解し合い、誰もが、暮らしやすい社会になってほしいと心から思っています。」と話されてました。参加者の皆さんは、薫さんの話を聞いて、感動して、涙を浮かべている方々も、見受けられました。

絵の感想を伺うと・・・足で描いた作品だとは思えない!細やかな色彩表現が豊かで立体的ですごい!素晴らしい!頭が下がります。など・・・

このエネルギーは、一体どこから溢れてくるのだろう。と不思議な感覚にと。

質疑応答では、他の障害者施設の理事長さん達も参加され、違う視点で再発見出来たと話しておられました。また、お絵かき教室の先生も参加され、「薫さんの絵は、透明感があり、薫さんの人柄が、しつかりと絵に現れている。」と絶賛されていました。「絵が薫さん、そのものですね。」と話しておられました。

「薫さんが語った『感謝の気持ち』は、今の時代に大切な心構えなのかもしれませんね。」「薫さんの笑顔が素敵ですね。」などの感想がありました。

今回の講演会や絵の展示で、さらに、薫さんのファンが、増えましたね。安養坊文化展後に引続き、桜谷校下の文化展にも薫さんの絵 2 作品を展示させて頂きました。そこでも、地区センター長さんから驚きと感動の声を伺いました。今回、改めて「薫さんの絵・子供たち」の威力・パワーのすごさ!や薫さんの素晴らしさ・強みを再発見させて頂きました。私も、薫さんに出会えたことは、『人生の宝物で心も人生も、より豊かにしてくれる出会いです。』心から感謝申し上げます。幸せな時間を共有させて頂きありがとうございました。



## 楡原中学校に行ってきました

河上（アパッチ）

去る、12月8日、富山市立楡原中学校に行ってきました。全校生徒さんと近くにある神通碧小学校の5・6年の皆さんの前で、「私が歩んできた道」と題して話してきました。

なぜ、楡原中学校に行くことになったかということ、文福で一昨年、「見た目問題」で活動されている河除静香さんの講演会を企画しました。河除さんから「県外の学校で呼ばれるけど県内では一度もない」と聞いて、その後、富山市教育委員会に要望書を出していました。それで、昨年、楡原中学校で河除さんの講演会をされたのです。そして、今年の春に同じ楡原中学校から連絡がありました。誰か話ができる人を紹介して欲しいとの事でした。「人権教育の一貫として、多様性を認め、一人一人がかけがえのない存在であることを自覚し、互いを尊重し合う心と態度を育てる。」という内容でした。私は、障害者部会で話して、一応、私が行くことになりました。

引き受けたものの、今までの文福でして来たザ★カイジヨ（重度訪問介護従事者養成研修）とは違い、聞く相手が小・中学生なので、できるだけ分かりやすく話をしなければならないと思うと戸惑いました。そこで思いついたのは、ちょうど、私の孫が中学2・3年なので私の書いた文章を読んでもらい、感想を聞いたり、紙芝居を選んでもらいました。

そして、当日は、悪天候でしたが、学校に行きました。着いて驚いたのは、玄関には、カギがかけられており、小・中学校が一緒になっていました。そう言えば、学校襲撃事件があってから、出入りが厳しくなったことを思い出しました。また、小・中学校が一緒になっているのは、少子化で子供が少なくなっているからだと思いました。

中に入ると校長先生他二人ほどの先生が出迎えてくださり、二階の校長室に案内されましたが、入口に大きな応接セットがあり入れませんでした。会議室に案内されて、こちらから持って行った「障害者はどう生きて来たか」の冊子と県から出している「ハンセン病」のパンフレット、私の書いた本を渡してしばらく雑談して、念の為、トイレに行こうと思い、校長先生に聞いたら車椅子用のトイレはないと言われました。新しい校舎でエレベーターもあるのに

と思い、廊下に出たら、ありました。校長先生が把握してなかっただけでした。(笑話です。)

時間になって会場に行くとすでに生徒さんたちが待っていました。進行役が初めの挨拶をして、私が前もって送って欲しいと言われていた、プロフィールを読みあげて、私を紹介して、始まりました。

話の内容は、私の生い立ちから始まり、学校時代にあったこと、いじめ、給食やトイレの事、中学の途中から総合支援学校に転校して孤独な思いをしたことを話していきました。その後、初めて働いた時に、親が差別発言をされたことやそれから集まりの中である人が手に障害があり動かないのに、介護者にタバコを吸わせてもらっている姿を見てショックを受けて、自分が出来ないことは人に手伝ってもらい、好きなものを食べればいい、好きなことをしていけばいいのだと思い直しました。親からは「自分で食べれない物は食べるな」と言われていたからです。それから、好きな人が出来て妊娠した時、病院に行ってひどい扱いを受けたことなどを話しました。「旧優生保護法」に関するニュースのDVDを見てもらいました。

予定していた時間より早く話が進んだので、冤罪事件「島田事件」の赤堀政夫さんとの交流の事やハンセン病元患者の玉城しげさんとの交流を話した後、紙芝居を見てもらいました。

最後に私が今日話した事は、今まであったことのほんの一部です。それで、みなさんこれから色々なこと、色々な人、色々な問題にぶち当たると思いますが、一步一步、逃げるのではなく、向き合って、自分の力で関わって行って欲しいと思います。

時間がまだあるようなので、聞きたいことがあったら、聞いてください。

@) 何回出産しようと思いましたが？

河上) 3回です。

@) 動物は好きですか？

河上) はい。猫とか犬とか、あと、アルパカ。 おしまい。

この後、生徒さんからお礼の挨拶があり、大きな綺麗な花束を頂きました。この日、車の運転とノートテイクをしてくださったAさんと休みを取って、一緒に行ってくださったHさんのおかげで、無事終える事が出来ました。

本当に感謝しています。ありがとうございました。

後日、学校からお礼文と生徒さんたちの感想文が届きました。

私が、話をしている時、真剣に聞いてくれていました。

感想文を読んで、印象に残ったことを紹介しておきます。

- ◎ 幼い事から大人になるまで様々な差別や苦勞を自分から話されていることがすごいと思いました。僕は、話を聞いて、昔障害者の方がひどい扱いをされていたことを知り、驚きました。人を見た目で判断せず協力して過ごしていきたいです。
- ◎ 「旧優生保護法」とかハンセン病の問題を初めて知りました。という感想が多くありました。結構インパクトがあり、しっかり、受け止めてもらえていると感じました。
- ◎ あの場では、質問できなかったのですが、一番苦勞したことは何ですか？とあったので、いろいろありますが、しいていえば、自分の名前を漢字で書く時に、千鶴子の「鶴」がどうしても大きくなってしまっているので一時は、親に文句を言ったことがありました。でも、今は、自分の名前が好きです。 外国に行く時のパスポートに名前を書く欄があるのですが、小さくて狭いので、ローマ字で書きました。今は、もう、字は書けませんが。
- ◎ 高校は、福祉系に行くという生徒さんがおられました。相手に寄り添う気持ちを忘れないで欲しいです。

皆さん、命を大切にしていってくださいね。  
というのとお礼と感想を送りましたが、  
生徒さんに伝えてもらえたらいいのですが・・・



## オカリナ演奏会がありました

1 2 月 9 日火曜日の天気の良い昼下がりに、文福事務所にてオカリナ演奏会が行われました。

オカリナの先生が 2 名来られ、オカリナの説明からオカリナを始められたいきさつなどをお話ししてくださいました。

お二方のお話がうまくて引き込まれました。

オカリナは様々な色や大きさがあること、吹き方をわかりやすく教えて下さいました。

演奏された曲は、往年のヒットナンバーからクリスマスソング、あとはハーモニカの演奏も何曲かありました。

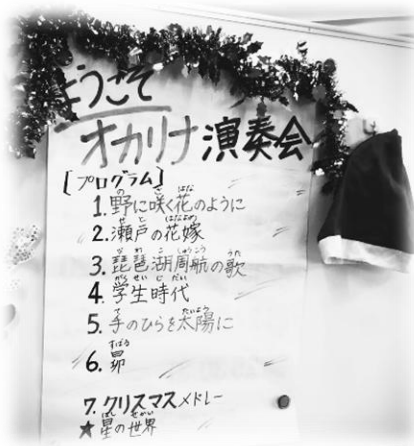
演奏を聴いていて、なんだかふるさとを思い出させる感じで、聴き入ってしまいました。(個人の感想です。)

オカリナを吹かれる人口が増えているのも納得してしまいます。

すべての演奏が終わった後、茶話会をして質問等しながら交流をしました。

事務所にて、こういうイベントもいいなと思った次第で、今後ご近所の方々に文福を知ってもらうにはどうしたらよいか考えるきっかけになりました。

報告者：森田



## 忘年会報告

去る 1 2 月 1 6 日火曜日の午後、障害者スタッフ・ヘルパーが一堂に会して、呉羽ハイツで忘年会がありました。

この忘年会は年に一度、障害者スタッフ・ヘルパーが集まり、めったに会えない方々との交流の場になっています。

呉羽ハイツにはお風呂があり、忘年会の前や終了後にお風呂に入られた方が何人かおられました。

副理事長の挨拶・乾杯の音頭で始まり、それぞれ自己紹介をし、食事をしながらの歓談となりました。

途中、サービス提供責任者 3 名の紹介と挨拶があり、進行役のスタッフからは「来年はスタッフ同士の交流を増やしたい」というお話がありました。

後半はビンゴ大会があり、最初にビンゴになった人から次々に豪華景品をゲットし、その場で開けて景品をみんなで見て盛り上がっていました。

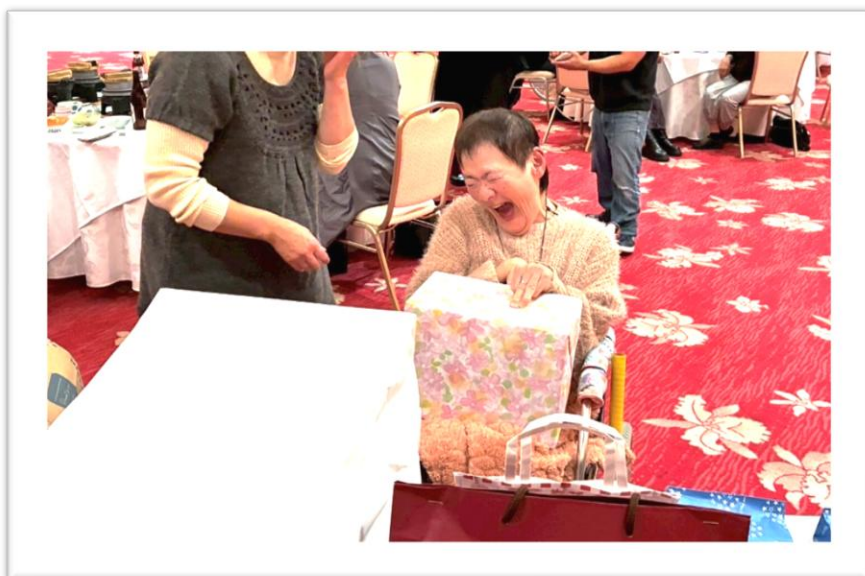
ごちそうもおいしくいただき、自分と同じテーブルの方や、ほかのテーブルの方々とも歓談している様子が見られました。

最後に副理事長からの挨拶、そして一本締めで終了となりました。

今回は、30 名以上の参加があったことをお伝えして報告といたします。

報告者：森田

## 忘年会スナップ



## 2025 年 12 月 2 日障害者部会報告

Zoom 参加・1 名 欠席者・1 名

### ① オカリナ演奏会について

- 1、演奏会日時 12 月 9 日(火):場所:文福事務所:13 時 30 分開始。  
演奏者 2 人
- 2、オカリナ演奏会の会場設営は K 氏、司会進行は N 氏が行う。
- 3、配置は事務所から入って右側が演奏者で左側が観客にした。
- 4、オカリナ演奏会が終わったら茶話会を行う。

### ② オカリナ演奏会のチラシについてと知らせ方の反省について

チラシは文福事務所近辺の個人で経営されているお店に貼らせてもらった。

「この様なイベントを行う際には、ヘルパーに一斉メールを送った方が良い。」という意見があった。

### ③ 障害者部会員を増やすためのリーフレットについて

障害者部会員を増やしたいという事に焦点を絞り、N 氏が作成し直し、これで良いと部会員の了承を得て印刷をする。

配る場所は市役所福祉課と社会福祉協議会とし、今後おいおい考えていく事になった。

### ④ ザ☆カイジョについて

今年度、春の『ザ☆カイジョ』を最後として、11 月末をもって『ザ☆カイジョ』は廃止にする。理由としては、部会員の高齢化と人員不足。

『ザ☆カイジョ』は廃止にするが、「障害者当事者の体験や経験を話す場は今後も継続していきたい。」という意見があった。

### ⑤ 12 月 8 日(月)楡原中学校の人権教育の一環で、K 氏が講演に行く。

次回の部会は 1 月 6 日(火) 14 時から

2025 年 12 月 2 日 現在

報告者:中村

## 「まっち」34号の原稿大募集

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」33号テーマ『座右の銘』を発行することができました。

これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。

この場をお借りして本当にありがとうございました。m(\_\_)m

さて、次号のテーマは『出逢い』です。

季節が冬から春へと移り変わるように、私たちの人生にも、新しいつながりや思いがけない出会いが訪れます。人との出逢いはもちろん、本や音楽との出会い、ふと立ち寄った場所で心を動かされた瞬間など、あなたが感じた「出逢い」のあたたかさや驚き、あるいは少し切ない思い出でもよいのです。ぜひ【まっち】に寄せてください。

皆さんからのステキな原稿を編集者一同お待ちしております。

原稿締め切り 3 月末日 発行 4 月末です。

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしております。



## ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年もよろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

皆さんお元気ですか？

さて、ニュース編集の関係で、こうして書いているのが、まだ、12 月下旬です。それで、今の事を書きたいと思います。12 月になり、冬本番で今日は、クリスマスイブですが、雪はありません。

熊は、まだ、出ていると言ひます。本来ならもう冬眠する時期なのですが、子熊が冬眠を親から教えられなかったのかも知れないという事です。親は、駆除されたのでしょね。さて、後 3 ヶ月大雪にならないようにと願うばかりです。

(アパッチ) より。

\* 2025 年度新規会員・継続会員 \*

粟多 智康さま 村上 隆さま 山口 久美さま

\* いただきもの \*

前田 位久代さま 中村 真弓さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 <sup>ぶんぶく</sup> 文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定 価 50 円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。